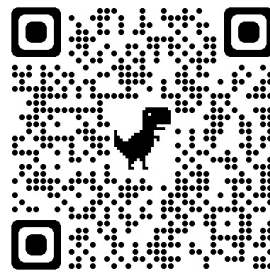


定福寺〇〇講堂建設・講堂建設に伴う定福寺整備事業勧進帳



QRコードから、キャッシュレス決済で 御寄付が可能になりました。



真言宗智山派 栗生山 歓喜院 定福寺

吉野川の支流南小川沿いに定福寺があります。真言宗智山派寺院であり、豊永郷の中心地にあります。2023年に開創1300年を迎えました。

江戸時代まで定福寺には12の堂宇がありました。観音堂(現持仏堂)から仁王門までは回廊があり、仁王門の下には経蔵などがありました。定福寺の飛び地境内として、豊永郷には36か所の堂があり、梶が森には定福寺奥の院、御影堂があります。多くの古い文化や文化財が残る地域です。



定福寺〇〇講堂建設の経緯

講堂とは、仏教寺院の建造物の名称で、僧侶が学ぶ場であり仏教の考え方や教えを広く伝えるお堂のことです。定福寺にはかつて、経典や書物があり学ぶ場所がありました。諸堂は明治の廃仏毀釈の際の祝融で現存いたしません。定福寺の先師の残した史資料より、お寺は「祈る場であり、学ぶ場であり、集う場である」ことがわかります。先師たちが必要だと考えた施設や機能を講堂に凝縮し、定福寺が長く保たれますように境内をはじめとする定福寺の整備事業を行ないます。

今回、定福寺〇〇講堂を建設する場所には、60年前に建築されたユースホステルがありました。老朽化により、いつの日か解体しなければならない場所でした。東京より江戸時代の仏さまが安置されることをきっかけとし、定福寺の維持保存、山間地域の文化保存と伝承のための施設の建立が決定しました。

祈りの場

定福寺〇〇講堂には、東京よりお越しになられた、仏さまが三昧安置されます。またその他定福寺周辺地域の仏さまを保存し、お参りができるように安置されます。ここでは、仏教関連の講習会や写経・写仏、瞑想、ヨガ、落語、また研修活動なども行われます。ご法事の後の精進落としやお遍路さんの接待所、一般の方にご利用いただける貸施設の役割も担います。



学ぶ場

広いスペースは、多目的に利用できる場所です。壁は、全面本棚となります。子供たちも楽しめるように、絵本なども多く収蔵する予定です。お寺への参拝者や豊永郷民俗資料館の利用者の休憩所、また研修場所としても利用されます。台所では郷土料理の講習会も行われる予定です。講堂までの境内の道もバリアフリー化いたします。駐車場もトイレも講堂の建設に伴い整備をいたします。



集う場所（境内）

境内の宝物殿、土佐豊永万葉植物園、今回建設される定福寺〇〇講堂は、どなたでもご利用できる場所となります。境内に隣接する豊永郷民俗資料館の見学もできます。これまで定福寺の駐車場は5台ほどしか駐車できませんでした。今回、講堂建設に伴い定福寺第三駐車場を建設し、大型バスや法要などの際の駐車スペースとして利用されます。駐車場として使用しない時には、体を動かす場として、ご利用いただけます。



定福寺に新たに安置される 不動明王三尊



不動明王護持の経緯

不動三尊は、不動明王とその眷属の制多迦童子・矜羯羅童子を合わせた三尊のことです。残された縁起には、「新堀の地(現在の港区芝周辺)に成就院を開基し、明治6年1月6日成田山新勝寺より遷座された」とあります。成田山新勝寺では江戸時代、江戸に御本尊が運ばれる出開帳が行われていました。出開帳は、お堂の建立、お寺の再建や興隆が目的でした。成田山から江戸まで、御本尊をお運びすることは、大変な作業でした。そのため明治初期まで御分身として、成田山新勝寺で造られた不動明王が、江戸の数か所に安置されました。しかし、明治時代の廃仏毀釈や第二次世界大戦の混乱により所在は不明となっています。

定福寺不動三尊は、成就院に安置されていました。第二次世界大戦の影響により、僧侶は疎開をしなければなりませんでした。小山真随(こやましんずい)僧侶は、成就院の近くの稲垣梅吉氏の厚意により、御本尊を同家の倉庫に安置しました。戦後、東京に帰ると成就院は焼失していましたが、不動三尊は災禍を免れていました。小山僧侶は、御本尊が無事であることを聞き、再び新堀の地にお堂の再建を試みましたが、願いはかなわず、僧侶宅に安置することとなりました。

御尊像は、子孫に引き継がれ、小田原の自宅脇に不動堂を建立し、御子息小山栄慎(えいしん)氏によって大事に護られてきました。長年個人宅で安置されてきた不動三尊の修繕を栄慎氏長女の小山千恵子(ちえこ)氏の願いで、吉田安成仏師に依頼をされました。併せてかつてのように多くの方を守護し、広く参拝されることを願っていました。吉田仏師ご夫妻と定福寺と御縁があり、2016年に小山氏と吉田夫妻、住職がお会いいたしました。今後定福寺で安置し、多くの方を守護し参拝されるようになればありがたいと、おっしゃって頂きました。大変大きなお像のため、老朽化した檀信徒会館を再建し定福寺講堂を建立し定福寺を整備することとなりました。



御寄付のお願い

定福寺〇〇講堂建設にともなう御寄付をお願いいたしております。

・10万円以上御寄付頂いた方

木札を講堂に掲示させていただきます。

・50万円以上(個人)・100万円以上(企業・法人)

を御寄付頂いた方は、石碑を建立いたします。

木札

山本太郎

H:360mm
W:60mm

寄付口座

・四国銀行 大田口代理店

普通9618339

宗教法人 定福寺(しゅうきょうほうじん じょうふくじ)

・高知銀行 豊永支店

普通3009475

宗教法人 定福寺(しゅうきょうほうじん じょうふくじ)

・ゆうちょ銀行

口座記号01620-7 口座番号12426

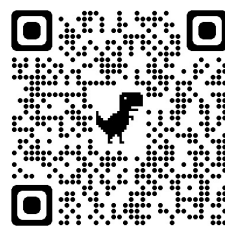
宗教法人 栗生山定福寺(しゅうきょうほうじん あおうさんじょうふくじ)

〒789-0167 高知県長岡郡大豊町栗生158

電話 0887-74-0301



QRコードから、インターネットを経由し、
クレジットカードで御寄付を頂けます。



定福寺は、多くの方々の御縁により廃仏毀釈を免れ1300年間守られてきました。定福寺講堂を建設し利用するために、境内の整備も共に行います。それにより建築後には、老若男女、遠方からお越しの方も講堂をご利用いただけ、豊永郷の文化に触れて頂けることとなります。先師の教えより「祈る場・学ぶ場・集う場」として定福寺を維持保存するために、講堂建設と講堂建設に伴う定福寺の整備を行います。物価高騰などにより厳しい状況です。何卒ご協力のほどよろしくお願いいたします。

定福寺 住職 釣井龍秀